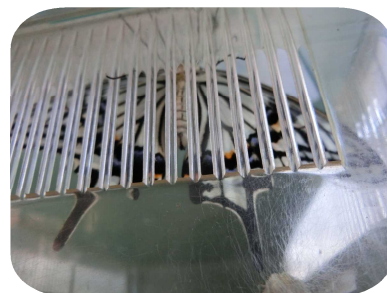




3年生の学習の様子をお伝えします☆

3年生になって、理科の学習が始まりました。1・2年生の頃に学習した生活科との関連を、特に大事にしています。

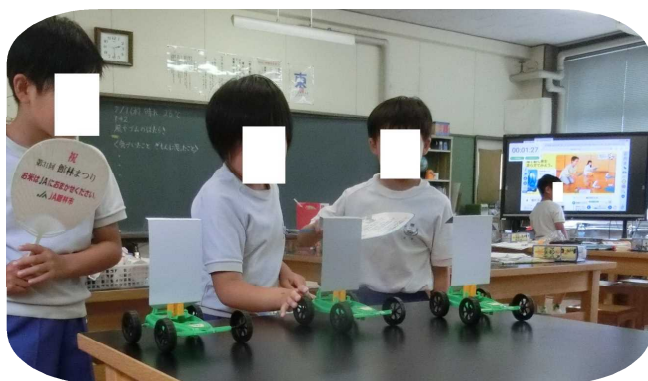
『チョウのかんさつ』では、モンシロチョウやアゲハを卵から育てました。卵→幼虫→さなぎ→成虫と姿を変えていく様子を、子どもたちは目を輝かせて観察していました。成虫(きれいなチョウ)になって、「このまま虫カゴに入れておくと、かわいそうだな。」「でも、もう少し観察したいな。」などという思いが、子どもたちに生まれました。最終的に、大自然へと飛び立っていきました。



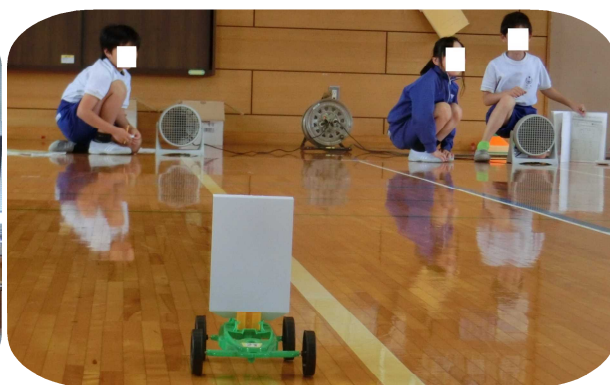
～きれいなアゲハ～

『風やゴムの働き』では、風やゴムの力で動く車を製作し、走らせました。

うちわであおいでみて、子どもたちから「横にあおぐと、車が遠くまで動く(強い風)。縦にあおぐと、車が近くまでしか動かない(弱い風)。」などという意見が出ました。「本当かな?」と子どもたちに聞いてみると、「待てよ・・・。あおぐ方向ではなく、あおぐ強さだ。」と・・・。「人によって、あおぐ強さ・弱さには違いがありますね。」「同じ風の強さにするにはどうしたらいいのでしょうか。」というように、教員と子どもたちの対話を大切にしながら、活動を行いました。



～うちわを使って～



～送風機を使って～

身の周りには、不思議がいっぱい！ その不思議を解明します。
理科って楽しいですね☆

